



大野 智様(85 歳)、要介護度 4、特別養護老人ホーム入所中

パーキンソン病を患いながら、妻と 2 人で在宅生活を送ってきたが、病状が少しずつ進行し、妻との在宅生活が困難となる。2 年前に特別養護老人ホームに入居後、ヤールの重症度分類 V 度まで進行し、現在では生活全般に介護が必要な状態にある。

【ADL 情報】

■立位／不可。膝の拘縮あり。

■移乗／全介助。

■移動／車椅子全介助。

■座位／支えがないと不可。時間が経つと左に傾きが出てくる。

■食事／全介助、嚥下機能の低下により、むせることが多く誤嚥性肺炎のリスクが高い。上下総義歯着用も義歯を自身で外してしまう。食事量も低下傾向 【食事形態：主食粥 副食きざみ食 水分はとろみ】

■意思疎通／発言もほとんどなく眠気が強いのか閉眼していることが多い。覚醒時、調子が良ければ意思疎通が行える時もある。

■その他／現在臀部に 3cm 大の褥瘡があり、褥瘡完治までは食事以外は臥床時間を設けている。

【試験内容】

あなたは特養で勤務するスタッフでリーダー職を任されています。あなたはインターン生(新卒内定者)の指導担当を任されており、試験官をインターン生に見立て、下記①～④の項目を実演指導してください。

※試験時間 12 分。実演指導中の発言・説明を試験官が聞き取れなかった場合、加点対象になりません。

	実演想定時間
① 咀嚼、嚥下のしくみと誤嚥性肺炎のしくみ、症状を簡単に説明(口頭指導)	2 分
② 食事介助前の注意点(口頭指導)	2 分
③ 食事介助(実演指導)	6 分
④ 食事後の注意点(口頭指導)	2 分

【実技試験会場図】

